名古屋市立大学
NAGOYA CITY UNIVERSITY

A4 サイズ：1 ページ、別添あり

令和８年８月２６日

報道関係　各位

名古屋市立大学教育研究部
研究開発課長　西村　宏久
電話：052-853-8639

名古屋市総務局市立大学部
市立大学課長　鈴木　貴広
電話：052-972-2192
（市政記者クラブと同時発表）

「共創まちづくり研究推進事業」第二次募集の研究課題を採択
行政課題・地域課題の解決を目指す研究を開始しました

名古屋市立大学では、令和５年度に設置した「なごや先端研究開発センター」において本学の研究力を強化するための取り組みの一つとして「行政・地域課題研究の促進」に取組んでおり、本学が名古屋市の協力・連携のもと行政課題及び地域課題の解決を目指す「共創まちづくり研究推進事業」を令和６年度から実施しております。

第一次募集では 50 件の研究課題を採択し、令和６年度から２年度にわたり取り組んできました。その成果は、名古屋市からの受託事業や民間企業との共同研究、市民への広報・啓発等の発展的な取り組みにつながりつつあります。

この度、本事業の第二次募集を実施し、令和８年度から２年度にわたり取り組む**２７件の研究課題を採択**しました。採択された研究課題に対しては、１件あたり毎年度 100 万円、２年度間の合計で 200 万円を上限に研究費（共創まちづくり研究推進費）を配分し、研究を開始いたします。

名古屋市との共創・連携体制のもと、行政ニーズとの適合性の高い実践的な研究に取り組むことで、行政課題及び地域課題の解決につなげてまいります。

【お問い合わせ先】

名古屋市立大学 教育研究部 研究開発課
電話：052-853-8639　　E-mail：ncu-sentanrdc@sec.nagoya-cu.ac.jp

別添

共創まちづくり研究推進事業　第二次募集　採択課題一覧

No.	所属	補職	研究代表者	研究課題名
1	医学研究科	特任教授	大矢幸弘	乳幼児の食物アレルギー発症予防研究
2	医学研究科	講師	堀寧	介護人材の定着促進に向けた職場環境モデルの構築 ―身体負担軽減と心身セルフケアの実証研究―
3	医学研究科	臨床研究医	河村逸外	健診データを活用した脂肪肝リスクの可視化と市民の健康行動支援ツールの開発
4	医学研究科 （東部医療センター）	教授	野崎実穂	視機能異常の早期発見を目的とした職業運転手向け眼科ドックの構築と検証
5	医学研究科 （東部医療センター）	助教	永瀬裕一朗	侵襲性溶連菌感染症の臨床的および微生物学的特徴の分析
6	医学研究科 （東部医療センター）	助教	和知野千春	誰ひとり取り残さない予防医学DX社会の実現へ ―産官学共創による予防接種ナビゲーションモデルの構築と社会実装―
7	医学研究科 （西部医療センター）	特任教授	尾崎康彦	国際観光都市名古屋におけるデスティネーションとしての東山動植物園の魅力を強化する
8	医学研究科 （みらい光生病院）	教授	青木芳隆	災害時要配慮者の健康と自立を支える排泄支援体制の構築― 名古屋市版PMATモデルの開発 ―
9	医学部保健医療学科 リハビリテーション学専攻	教授	大星有美	地域在住高齢者における個別最適化認知トレーニングによる認知機能維持・向上
10	医学部保健医療学科 リハビリテーション学専攻	准教授	草川裕也	高齢運転者の特性に基づく交通安全施策・移動支援モデルの開発
11	薬学研究科	特任教授	林秀敏	熱田湊の持続可能なリバイタリゼーションプロジェクト
12	経済学研究科	准教授	平賀一希	融資円滑化支援が中小企業の投資行動、および生産性に与える影響について
13	人間文化研究科	教授	上田敏丈	名古屋市の幼児教育・保育の質向上を促進する就学前施設種別を越境した横断的ネットワークの構築
14	人間文化研究科	教授	三浦哲司	名古屋市の持続可能な地域コミュニティを支える人材の育成に関する研究－外国籍住民および中学生に注目して
15	人間文化研究科	准教授	天谷祐子	小中高生を対象とした自己探索型キャリア教育の効果検証：先行事例集の活用による将来展望の育成

共創まちづくり研究推進事業　第二次募集　採択課題一覧

No.	所属	補職	研究代表者	研究課題名
16	人間文化研究科	准教授	佐藤美弥	名古屋をフィールドとしたデジタル・ヒューマニティーズの展開 ――地域資料のデジタル化と高度活用に向けて
17	人間文化研究科	准教授	松村智史	名古屋市の小学校年齢期における放課後施策の量的拡充及び質の確保に向けたエビデンスの構築に関する研究 ―現方針アンケートの二次分析と次期方針策定に向けた調査設計・分析を通じて―
18	人間文化研究科	准教授	渡部朗子	名古屋市における空き家問題への対策
19	芸術工学研究科	教授	栗原康行	生成AI/SNS/ショート動画を活用した名古屋市観光プロモーション推進のためのコンテンツ研究開発と社会実装に関する研究 -オリジナルキャラクターによる観光情報発信と対話型観光支援モデルの構築 -
20	看護学研究科	教授	金子典代	名市大医療系学生による結核・梅毒予防アウトリーチモデルの構築
21	看護学研究科	教授	樋口倫代	外国人市民の保健情報アクセス向上をめざしたコミュニケーション向上支援と参加型健康啓発活動の連動
22	看護学研究科	准教授	秋山直美	誰一人取り残さない防災・減災教育 ― 測定・教育・評価を一体化した多文化共生型防災教育モデルの構築 ―
23	理学研究科	教授	木藤新一郎	名古屋圏の水域におけるマイクロプラスチックス汚染の実態と生態系への影響の調査
24	データサイエンス研究科	教授	辰己賢一	3D都市モデルとCFD解析による名古屋市の酷暑適応型グリーンインフラ評価
25	データサイエンス研究科	教授	三澤哲也	名古屋来訪者の行動実態とその滞在に関する潜在的課題の可視化
26	データサイエンス研究科	准教授	原田峻平	名古屋市におけるEBPM（Evidence-Based Policy Making）の定着に向けた研究 －教材開発と実践に向けた取り組み－
27	データサイエンス研究科	准教授	山本祐輔	救急出動ビッグデータ分析による需要要因の解明と将来予測